



2025.5.5

No.376

毎月5日発行 定価1部10円（組合員の購読料は組合費に含む）
1996年3月4日第三種郵便物認可

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

和田 英 浩

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

みんなであつこう!
賃上げがあたりまえの社会全体は5%超えを維持!
中堅・中小組合も健闘が続く!

連合本部 第4回 回答集計【4月15日(火)10時時点取りまとめ】

○平均賃金方式で回答を引き出した3,115組合の加重平均(規模計)は17,015円・5.37%(昨年同時期比1,228円増・0.17ポイント増)となった。300人未満の中小組合(1,958組合)は13,283円・4.97%(同1,113円増・0.22ポイント増)で、昨年同時期を上回っている。

賃上げ分が明確にわかる2,447組合の賃上げ分は12,065円・3.79%(同1,238円増・0.22ポイント増)。300人未満の中小組合(1,400組合)の賃上げ分は、9,868円・3.62%(同1,194円増・0.32ポイント増)である。全体も中小

組合も、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015闘争以降の最終集計結果と比べ、額・率ともに最も高い。

○有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給70.08円(同3.64円増)と、昨年同時期を上回り、時給の引上げ率(概算)は6.06%で、一般組合員(平均賃金方式)を上回っている。

連合本部最新の回答集計はこちらから

https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/roudou/shuntou/2025/yokyu_kaito/

連合北海道 回答集計【4月18日(金)10時時点とりまとめ】

連合北海道の第4回回答集計で、集計可能な回答を引き出した組合は112組合・集計人数33,854人となった。

○ベースアップ分が明確にわかる組合は103組合で、全体で9,918円・3.61%(昨年同時期比881円・0.65ポイント増)となっており、うち300人以上の組合では10,085円・3.61%(同1,129円・0.79ポイント増)となり、300人未満の組合では9,333円・3.60%(同104円減・0.01ポイント増)で、昨年同

時期と同水準の引き上げとなった。

○有期・短時間等労働者の時間給賃上げ額は、加重平均で時給71.14円の引き上げ、率にして6.33%、平均時給は1,183円となっている(集計11組合・32,301人)。

詳細はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9935>

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99人	48	2,200人	11,625円(4.71%)	9,259円(3.91%)	2,366円(0.80%)
100～299人	34	5,775人	11,850円(4.53%)	12,713円(5.20%)	▲863円(▲0.67%)
300人未満計	82	7,975人	11,785円(4.58%)	11,614円(4.77%)	171円(▲0.19%)
300～999人	24	11,625人	14,843円(5.51%)	13,417円(5.26%)	1,426円(0.25%)
1,000人～	6	14,254人	15,257円(5.27%)	13,124円(4.36%)	2,133円(0.91%)
300人以上計	30	25,879人	15,094円(5.36%)	13,202円(4.66%)	1,892円(0.70%)
計	112	33,854人	14,377円(5.19%)	12,972円(4.68%)	1,405円(0.51%)

北の輝く女性応援会議に須間会長が出席

3月21日、須間等会長は「北の輝く女性応援会議」(経済団体・連合北海道・女性団体・金融系会社・北海道労働局・北海道経済産業局・北海道町村会等の17団体、北海道知事他)に出席した。

この会議は、少子高齢社会の進展や人口減少による地域の活力低下、労働力人口の減少による経済の縮小問題などが顕在化し、特に第一次産業を基幹産業とする北海道には影響が大きく重大な課題と指摘される中、女性の持つ才能や感性などの能力が十分発揮されることにより、北海道経済や地域づくりを活性化するため、オール北海道で女性の活躍を支援することを目的に、平成26年度から北海道環境生活部女性支援室が主管し、毎年開催されている。

今回は、毎年3月8日に発表される「都道府県版ジェンダーギャップ指数」の北海道の状況について情報提供を受けた後、「北の輝く女性応援会議」の発展的改組と共通目標の設定について付議された。共通目標として、女性(25-34歳)の就業率を現在の79.9%から令和10年に82.5%にすること、男性の育休取得率を現在の33.0%から85.0%(全国水準)にすることが提起された。

須間会長は、「共通目標の設定は、定量的な目標のみ

ならず定性的な目標・具体的な内容の設定も必要。女性の正社員の割合を高めていくことにより女性の活躍推進に効果が期待できるので、このような数値についても注視していくことが求められる」と述べた。

最後に鈴木知事から、「今回の議題については概ね方向性はご理解していただいた。数値目標の説明方法や目標達成の確認方法など、いただいた意見を精査し進めていきたい」と締めくくった。連合北海道は今後もジェンダー平等の推進について、連合より打ち出されたジェンダー平等推進計画フェーズ2の達成に向け、構成産別・地協と連携し取り組んでいく。

都道府県別ジェンダーギャップ指数はこちらから
<https://digital.kyodonews.jp/gender2025>



※三浦まり上智大教授ら研究者でつくる「地域からジェンダー平等研究会」は都道府県別に「政治」「行政」「教育」「経済」の4分野で指数を示し、北海道は政治以外の3分野で47位。ジェンダーギャップ指数は、男女格差の現状を数値で示したもので、世界経済フォーラム(WEF)が発表した国別ジェンダーギャップ指数では、日本は146カ国中118位と世界最低レベルとなっている。

連合本部主催 北海道ブロック女性会議を開催

3月22日に連合本部北海道ブロック女性会議が札幌市内で開催され、本部から小原成朗総合政策推進局長と菅村裕子ジェンダー平等・多様性推進局長の2名が来札し、8産別4地協から26名が参加した。

連合北海道女性委員会の河原崎育子委員長から「ジェンダー平等推進計画フェーズ2の取り組みが始まり、女性が議決機関に増えることにより、多様性が意思決定に反映されることになる。今日はジェンダー平等の情勢を把握し、お互いの産別に学ぶ会議にしたい」と挨拶した。

連合本部の菅村裕子局長から、AGCグリーンテック事件の裁判で、事実上男性にのみ適用される福利厚生が女性に相当程度の不利益を与えていることについての合理的理由はなく、「間接差別」に該当すると判断された事例や、育児・介護休業法の改正点について説明があった(子の看護休暇の対象年齢が小学3年生まで延長され、感染症に伴う学級閉鎖や入園・入学式、卒園式でも取得できるようになった)。

また、ジェンダー平等推進計画フェーズ2の「チェンジ目標」として、トップリーダー自らが男女平等参画、ジェンダー平等推進についてのメッセージを発信すること、「チャレンジ目標」として、女性を三役に登用、執行機関へ

の女性の参画率50%が新たに掲げられたことなどが説明された。

産別報告として、自治労の橋爪奈都恵さんからは「女性の働く権利確立運動強化月間」や、1月の「女性交流集会」の講演で「セクシャルリプロダクティブヘルス/ライツ」について学び、「自分の身体は自分で守る」「自分の気持ちを尊重し生き方を選択していい」と認識することが、自分らしく生きるための力になり、広く認知されていくことによって社会が変わっていく第一歩になることなどが報告された。分散会では、人員不足、人間関係、ハラスメント、休暇が取りづらいなどの職場実態や、生理休暇・更年期休暇の名称や対象が課題となっていることなどをテーマに意見交換した。

最後に、連合本部小原成朗総合推進局長から、「産別報告は大切な取り組みであり、集まって連携しお互いを高めあうのが重要。今日は会場に男性2名の参加もありすごく嬉しく感じた。ジェンダー平等推進について理解している男性を増やすことも大切である」と閉会挨拶があった。

詳細はこちらから
<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9832>



開催
御礼

北海道高校生 被爆80年被爆ピアノコンサート ～今日の聞き手は明日の語り部、他人事から自分事に～

被爆ピアノコンサート開催にあたり、クラウドファンディングには多くの皆様から1,888,000円(220件・手数料込)

のご支援をいただきました。コンサートやストリートピアノにも多くの皆様にご来場いただき、心より御礼申し上げます。

被爆80年 高校生被爆ピアノコンサート実行委員会からの御礼(抜粋)

3月29日から4月1日まで7会場で開催された「被爆80年 高校生被爆ピアノコンサート」は1,600人を超える観客の皆様楽しんでいただき平和を考える一助になったと思います。多くの署名・カンパのご支援もいただき感謝申し上げます。平和宣言にある「今日の聞き手は明日の語

り部」、この言葉のように、私たちがこれからも真摯に平和活動に取り組むことで、北海道民の皆様が届く平和があると信じ、自信と誇りを胸にこれからも邁進します。引き続きのご支援をお願い申し上げます。



北海道被爆者協会廣田会長(左)とピアノ保管者矢川さんと実行委員



調律中の矢川さん



豊口健(Pf)さんと
池田篤(Sax)さんの
セッション



チ・カ・ホでのコンサート



新千歳空港センタープラザで



皆川実行委員長から秋元札幌市長へ平和宣言を



フェリーへ向かう被爆ピアノを積み込んだトラックをお見送り

5月15日 北海道労働資料センター 終日OPEN!

過去から未来へ語り継ぐ 貴重な労働史に触れる

北海道労働資料センターが5月15日(木)9:00~17:00、1日限定で公開されます。官公庁や労働団体、経営者団体並びに関係団体などで発行された「労働」に関する各種資料、図書、逐次刊行物を所蔵しており、この機会に過去から未来

に語り継ぐ貴重な労働史に触れてみてください。

北海道労働資料センターのHPはこちらから

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/rsf/siryo_center.html



入館無料

予約不要

Access

札幌市中央区北3条西7丁目 北海道庁緑苑ビル庁舎

▶ JR／札幌駅南口から徒歩約10分

▶ 地下鉄南北・東豊線／札幌駅10番出口から徒歩約7分

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/rsf/siryo_center.html

北海道労働資料センター

検索



北海道医療生活協同組合 解散報告

北海道医療生協は、1965年(昭和40年)の設立以来、道内勤労者の労災・職業病治療対策や健康増進運動の普及・推進に取り組んでまいりました。旧札幌緑愛病院並びに緑愛クリニックの経営悪化により、同施設の維持継続が困難との判断から、2022年6月に医療・介護事業のすべてを譲渡し、職員全員の雇用と退職金債権の継承を確保しました。

2025年1月には「清算事務開始総代会」を開催し、事業譲渡以降この3年間で組合員個人への出資金を返還し、北海道知事からの「解散認可」も得て、2025年4月8日の清算終了総代会をもって名実ともに解散いたしました。ほくろう

ビルの事務所も4月末をもって閉鎖しました。

連合北海道に結集する皆様のご支援・ご協力にあらためて感謝申し上げます。

60年の長きにわたり、北海道労福協加盟団体としてその役割の一翼を担ってきましたが、医療生協運動解散という節目に、清算事務の先導役を何とか無事に終えることができました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

代表清算人(旧理事長) 根本 武志



5月の主な動き

- 5月 1日(木) 9:30~ 第96回全道メーデー(札幌 大通西8丁目広場)
- 5月15日(木) 13:30~ 第20回中央執行委員会／連合会館
- 5月20日(火) 18:30~ 5月判例研究会／かでの2・7
- 5月21日(水) 10:00~ 第2回政策委員会／ニューオータニイン札幌
- 13:30~ 連合本部 北海道ブロック政策担当者会議／ニューオータニイン札幌
- 5月22日(木) 10:00~ 第6回執行委員会／札幌ガーデンパレス
- 12:30~ 第2回労働福祉事業団体役員推薦委員会／札幌ガーデンパレス
- 13:00~ 第48回組織・財政特別委員会／札幌ガーデンパレス
- 14:00~ 第5回地協事務局長会議／札幌ガーデンパレス
- 15:00~ 連合本部 北海道ブロック地協活動推進会議／札幌ガーデンパレス
- 5月25日(日) 13:30~ 北海道高校生平和大使選考会／ポールスター札幌
- 5月31日(土) 13:30~ 全道中小労働者研修・交流集会／美瑛町

イベントカレンダー

